

は じ に ほ ん じ ん

# 初めての日本人

## バイリンガル



はなし つく ひと たばた みつえ  
お話を 作った人：田畑サンドーム光恵

ジョン万次郎は 1827年に日本の高知県で生まれました。

ウィキペディア<sup>1</sup>によると、ジョン万次郎は

- 日本に初めて「ABCの歌」を紹介した人
- 日本人で初めてネクタイをした人
- 日本人で初めて鉄道や蒸気船に乗った人
- 日本人で初めて近代的な捕鯨をやった人
- 日本人で初めてゴールドラッシュに参加した人



<sup>1</sup> <https://bit.ly/2BoDfwv> (2018年12月30日)

そして、ジョン万次郎は「初めての日本人バイリンガル」です。ジョン万次郎は日本語と英語がペラペラに話せた最初の日本人でしょう。

どうしてジョン万次郎は「初めての日本人バイリンガル」になったのでしょうか。

---

ジョン万次郎の本当の名前は、中浜万次郎です。1827年に四国の高知県に生まれました。

万次郎の父親は、彼が8歳の時に死にました。そのため、万次郎が漁師になって家族のために働きました。



1841年、14歳の万次郎は仲間4人と漁のために海に出てい  
ました。とつぜん天気が悪くなり、5人は帰れなくなりまし  
た。そしてある島にたどり着きました。そこで3ヶ月以上助け  
を待ちました。



ある日、アメリカの船がその島の近くを通っていました。そ  
して5人を見つけて助けてくれました。

その船に乗って5人はハワイまで行きました。万次郎の仲間  
の4人はそのままハワイに残ることにしました。



でも、まだ14歳だった万次郎は、そのアメリカの船に乗ってアメリカ本土に行くことになりました。

アメリカの船の人々は、万次郎に親切でした。特にホイットフィールドさんという人が万次郎の世話をしてくれました。みんなは万次郎をジョン・マンと呼びました。

アメリカに着いて、ホイトフィールドさんは万次郎を学校  
に行かせました。バートレット・アカデミーという学校でし  
た。

万次郎は英語から勉強しなければなりません。日本で  
学校に行けなかったので、万次郎は学校に行けることをとても  
喜びました。そして、一生懸命勉強して、バートレット・ア  
カデミーで一番の生徒になりました。



学校を卒業してからも、万次郎はアメリカの船に乗って一  
生懸命働きました。でも数年して、日本に帰りたくなりました。  
た。

じつ ころ にほん さこくせいさく さこくせいさく  
実はその頃の日本は鎖国政策をしていました。鎖国政策とい

がいく かんけい も がいくじん  
うのは、外国と関係を持たないことです。ですから、外国人は

にほん しい にほんじん がいく しい  
日本に行けませんでした。また、日本人も外国に行けないし、

がいく にほんじん にほん かえ  
外国にいる日本人は日本に帰れませんでした。



まんじろう にほん つ  
万次郎は「日本に着いてもつかまってしまうかもしれな

かんが おも き かえ  
い。。。」と考えましたが、思い切って帰ることにしました。

ねん きゅうしゅう ながさきけん つ まんじろう  
1851年に九州の長崎県に着いた万次郎は、やっぱりつかま

つぎ とし う こきょう こうちけん かえ  
ってしまいました。でも、その次の年、生まれ故郷の高知県に帰  
ることができました。

さい とき にほん はな ねん いじょう た  
14歳の時に日本を離れてから 10年以上経っていました。

ちょうどその頃の日本は、アメリカなどから鎖国をやめるように言われていました。他の国々も日本に来るようになっていました。

でも日本には英語が上手に話せる人がいませんでした。そこで、英語も日本語もペラペラに話せる万次郎は、国のためにとっても大切な仕事をする人になっていきました。（約700語）

